

平成29年度 今治市障害者作業所 施設指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市障害者作業所
所在地	今治市菊間町長坂2001番地
指定管理者	<p>名 称 特定非営利活動法人 作業所こまどり</p> <p>代表者 理事長 松田鈴美</p> <p>住 所 今治市菊間町長坂2001番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>健康福祉部 障がい福祉課</p> <p>TEL : 0898-36-1527</p> <p>E-mail : syougai Fukus@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	スタッフが少人数のため、目的や方針をしっかりと共有できている。	A	同じメンバーで継続して施設の管理運営を行っており、施設の設置目的や管理運営方針等を十分に理解しています。
利用状況	B	精神障害のある利用者・心身共に不調な利用者が2人、病院や他の施設のサービスを受けるため、皆勤は無理な状態である。 残りの利用者はほぼ皆勤となっている。	B	精神障がいのある利用者は症状の変化が激しく、病院に入院する状況にあり、入浴サービスを週2日受けている利用者もおり、この2名については通所日数の増は難しい状況にあります。それ以外の利用者は皆勤に近い状態であるため、利用者増には新規利用者が必要不可欠と考えます。
事業収支	A	自主事業による収入が昨年度より増加し、支出は昨年度より削減できている。収支もプラスとなり、事業運営を安定して行えている。	A	前年度繰越額以上の収支プラスで決算を迎えることができています。また、支出も削減できおり、経費節減の努力が見られます。引き続き安定した経営をお願いします。
管理運営体制	B	管理運営業務を実施するための人員を配置できている。また、商品開発のための講習会にも積極的に参加している。	B	人員配置は仕様書の基準に従って、適正に配置されています。作業によって利用者が作業できない部分については、スタッフや職員が下準備や仕上げを行いながら進めています。また、商品開発のための研修を増やし、利用者への指導内容の充実、新たな製品づくりを経験させるなど、毎年できることを増やすよう取り組んでいます。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	A	清掃作業や日常点検など日頃より適切に行っている。	B	仕様書に定められた基準に従い対応していますが、清掃管理業務に置いて、施設内の清掃、備品や製品の整理整頓について配慮が必要です。
利用業務	B	HPを作っては、とのアドバイスを外部から受けることもあるが、人手不足が原因で十分対応できていない所が反省点である。	C	利用者への指導体制という点において、職員の個々の能力に依存しているところがあり、将来の後継者への引継ぎに心配な点があります。宣伝広報業務について、羊の毛刈り大会、河野美術館でのものづくり展等活動ができていますが、それがさらに次の段階へ繋がる方策が必要と考えます。
その他業務	A	警報発令時には連絡や送迎を速やかに行い、利用者の安全確保に努めている。	B	各種マニュアルは整備されており、6月の大雨警報時には速やかに閉所の連絡を行い、対応しています。避難訓練時にはスリッパのまま避難させるということを何度も練習し、日頃より挨拶・返事を習慣づけることにより災害時の安否確認が速やかにできるよう指導しています。
修繕業務	A	備品は日々点検しており、修繕箇所を発見次第速やかに対応している。	B	施設修繕について、建物が新しいため施設本体の修繕は発生していません。備品については古いものが多くなり、修繕の必要性が高まっています。日頃の点検から早期発見、早期修繕を願います。
備品管理業務	A	備品は常に同じ場所へ戻すようにし、備品台帳にある物は全て把握できている。備品状態も適切に管理をしている。	A	今年度は必要な備品がなかったため新規購入していません。備品の状態確認を含めた管理は適切に行われています。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	—	目的外使用はありません。	—	該当なし
自主事業	A	羊の毛刈り大会や菊園夏祭り、清掃活動など地域と密着した独自の事業を展開できている。	A	日々の健康状態を確認するとともに、2カ月ごとに健康診断を実施する際に情報を医師へ伝えることで、利用者の健康状態を維持できるよう取り組んでいます。羊の毛刈り大会は恒例行事としてメディアにも取り上げられ、障がい者との相互理解の役割を果たすとともに、人を楽しませる活動を自分たちができるのだと教える場でもあります。また、今治市より受託している小丸丸広場の清掃活動を行い社会貢献も果たしています。現在の活動を継続するとともに、地域、各種団体とより一層の連携に努めてください。
地域団体との 連携	A	小学校へ講義に向いたり、生徒を受け入れたりとお互いの交流を積極的に行った。また、自主事業でも地域団体との交流が十分なされている。	A	地域の各種イベントに参加することで地域との交流を図るとともに、羊の毛刈り大会時には、主体となって地域を巻き込み活動しています。医療機関とも連携することで利用者の健康管理が維持されています。作業内容による同業種の事業者、視察、訪問などによる情報網が形成されています。
利用者 アンケート	A	少人数でもあり、毎回同じ様な内容であるがアンケート実施時にかかわらず普段から保護者との意見交換は十分にできている。	B	アンケート結果は概ね良好です。普段からの意見交換により、要望等に対する対応が即座にできている部分が大いだと思います。ただ、直接では言いづらいことでもありますので匿名性のある意見募集も行い、潜在的な意見を引き出せるよう努めてください。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
事故・苦情	A	意見や苦情を述べやすいよう日頃から利用者の保護者と話し合う場を設け、話しやすい雰囲気づくりに努めた。	A	事故・苦情なく事業を実施できています。警報発令時には、事前の閉所判断や自宅への直接送迎など適切な対応ができています。今後も安全安心な事業展開をお願いします。
指定管理者の経営状態	/		賃借対象表、事業活動計算書については、法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められました。指定管理者の経営状況については、財務諸表から割り出した経営分析指標において、特に気になる数値はなく、指定施設の管理を安定して行う物的能力を有していると認められました。	

総 合 コ メ ン ト

平成23年度より、今治市地域活動支援センター運営事業補助金交付要綱による補助金を活用し運営されています。他の作業所では見られない独自の作業（羊の育成、羊毛、綿花の採取から製品加工、展示販売までの一連の流れ）を行うほか、藍染めや木工、織り、タオルの袋詰め、公園清掃を実施しています。また、自分たちからも地域へ羊の毛刈り大会を開催することで、情報発信しています。市外、県外から問い合わせや視察、情報交換など作業所や障がい者団体との交流が図られており、各所から注目される施設となっています。施設利用について、利用者が固定され健康状態により通所回数が減る中で新規の利用者の獲得が課題となっています。また、利用者の安全のため、作業のしやすい環境整備のため、日頃からの清掃、整理整頓について配慮が必要です。